

今回のまちづくりニュースでは、12月7日に開催した第二回勉強会の模様をお伝えします。  
第二回勉強会では、前半は東京都・町田市の各担当課からまちづくり事業等の状況を説明し、後半は第一回勉強会と同様に、3グループに分かれてグループ討議を行って頂きました。  
ニュース裏面には、1月に実施する視察「行ってみませんかまち並み拝見(相原まちづくり勉強会視察)」と相原まち歩き案内も掲載してありますので併せてご覧ください。

## 第二回まちづくり勉強会 まちづくり事業等の説明・グループ討議

### 前半 -まちづくり事業等の状況説明-

勉強会の前半では、東京都、町田市道路整備課、町田市まちづくり推進課からそれぞれ以下のような状況説明をしました。  
(※町田街道は東京都、その他道路やまちづくりは町田市の事業になります。)

#### 東京都 -町田都市計画道路3・3・36号線(町田街道)の整備について-

町田3・3・36号線のうちJR横浜線との交差部付近は、多摩地域における都市計画道路の整備方針(第三次事業化計画)において、優先整備路線に位置づけています。  
現在、計画幅員18mで都市計画決定をしていますが、鉄道と立体交差化するためには、都市計画を変更し計画幅員を上げる必要があります。道路構造等については今後検討を進めていきます。

#### 町田市(道路整備課) -今年度実施予定の相原駅周辺の道路整備事業について-

今年度は、都市計画道路について、「①歩道(境石・側溝)の一部」、「②車道の一部」を施工する予定です。  
工事期間は、2011年1月上旬から3月下旬までを予定しています。(右図参照)

#### 町田市(まちづくり推進課) -相原駅周辺の用途地域について-

相原駅周辺は大きく4つの用途地域が指定されており、各々の用途地域ごとに土地利用の種類や建物高さなどの制限が設けられています。実際にはその他にも様々な要素が関係して建てられる建物の種類や規模などが決まってきます。

### 会場からのご質問と回答

- Q 町田街道の幅員構成の決定や都市計画を変更する時期はいつ頃になりますか。
- A 今後、鉄道との立体交差部分の深さなどJR等と調整してから道路構造を決めていきます。また都市計画変更の手続は1、2年程度かかるのが一般的です。(東京都)
- Q 西口の都市計画道路の整備には地権者も大勢関係しているのでもっと積極的に市民に情報を出してほしい。
- A 施工業者が決まってからと考えていたため、工事の情報提供が遅くなってしまいました。おわびいたします。(町田市)
- Q 町田街道のその他の部分を拡幅する予定はあるのでしょうか。渋滞が発生したり、子供の通行にも危険です。
- A 都市計画決定幅員より狭い部分がありますが、踏切部分が先になります。予算にも限りがあり、優先順位を付けさせて頂いていますので、ご理解をお願いします。(東京都)
- Q 堺市民センターから相原駅までの道路も混雑しているので、拡幅したほうがいいのかいではないですか。
- A この路線については、現在のところ整備の予定はありません。まちづくりの議論の中で考えていきたいと思っております。(東京都・町田市)

今年度の都市計画道路の工事予定箇所



※道路整備に関するご質問は町田市道路整備課(TEL042-724-1125)までお願いします。

### 後半 -グループ討議- (主な討議の内容を抜粋して掲載しています)

#### 道路沿道グループ

- 踏切部分が幅員18mであれば、建物の一部に支障があるだけだが、模型の幅員では、別の場所に移転しなければならない。
- 模型の計画は標準的なものであり、地元意見を取り入れて対応していくことは可能ではないか。  
→ 道路の深さ、構造物の高さなどはJRを含め今後調整しながら検討を進めていく。
- 踏切を立体交差化しても渋滞はなくなり、立体化は無駄かもしれない。実際、踏切以外の場所での渋滞が激しい。  
→ 町田街道の当該区間は踏切がネックとなっており、立体化を整備していきたい。
- 堺市民センターを駅前に建て替え、駅前広場の地下に駐車場を作り、駅前広場を囲む街区において市民センター、店舗、住宅、大学サテライト等による高度利用をすすめるべきではないか。

町田街道の踏切部分の将来イメージ模型

(現時点の案をもとに昨年度東京都で作成したものです。討議の参考として、当日会場に設置いたしました。)



## 駅西側グループ

- 車が入らず子供が遊べる年寄りが集える路地の様な道が大切。
- 学生は駅前を素通りしている。足を止めてもらうためにイベント的な仕掛けを考えてはどうか。例えば百年桜をライトアップすれば、電車からも見え関心を引くし、春には屋台を出してもいい。参加型の取り組みが「おらが町」づくりに重要ではないか。
- 用途地域を早く変更すれば土地も早く活用されるのではないか。  
→用途地域の変更は、まちづくりの議論を踏まえて検討することが必要。
- 高齢の方からは、バスが少なく移動が大変、坂が多く家を出づらい、買物ができず生協の宅配に頼っている等伺っている。
- 相原周辺は山も急峻でなく歩きやすい。3時間ほどで一回りできる環境は貴重。頑張りすぎず、歩ける環境を残したい。
- 家のすぐそばでツクシやセリを摘める環境を大切にしたい。また、丹沢の山や夕日の眺望を大切にしたい。
- 柵で囲まれている用地がもったいない。短期でいいから上手く活用できないか。
- 緑と生活を組み合わせた里山は一つの方向。里山はお金がかかるため、どう稼ぐかが重要だが、稼げれば雇用も生まれる。
- 西口の道路整備事業等の情報を少しずつでいいから早く出して欲しい。全体質疑でも指摘されたが、入札するということは事業することは決まっているのだから、今年度の予定として説明があってもいいはずだ。情報提供の取り組みがなければ次第に地元の関心はなくなってしまふ。



## 駅東側グループ

- 駅前広場も交通だけでなくイベントができる広場にしてほしい。
- 買い物は散歩がてらホームセンターであることが多い。年をとってからどうするか不安。
- 容積率を上げてマンションが建つようにするべき。  
→東口は容積率は大きい場所が多い。道路幅員が狭いため規制がかかり高い建物が建ちにくい。
- 色々な年齢層の人が住めるように、子育て支援施設や病院などがあるといい。
- 学生が飲み食いする店が少ない。スポーツ施設なども大学にも少ないので駅近くにあるといい。
- すぐ撤退するチェーン店には来てほしくない。地元の人がやる店がいい。橋本のまねをしても勝てない。
- 町田街道から駅に右折するところで混雑する。この道路は駅に向かうほか、八王子方面に抜ける車も多い。
- 排気ガスの多い町田街道を子供に歩かせたくない。裏の一方通行の道を安全に歩けるコミュニティ道路にしてはどうか。
- ハイキング客はごみを落とすとしていだけであり、観光のまちを目指してほしくない。
- 外からどの程度人を呼び込むか、車が入れるようにするか、いずれにせよみんな同じ方向を向いていないといけない。



## お知らせ

### 1月は視察(1/20)、相原まち歩き(1/23)を行います!

長野県茅野・山梨県竜王の見学と相原のまち歩きを以下の日程で行います。みなさんと一緒に視察やまち歩きを通じて、相原のまちづくりのヒントをつかみましょう。

#### 茅野・竜王視察

「行ってみませんか まち並み拝見(相原まちづくり勉強会視察)」  
地域の人が自分たちで作り上げた茅野の街づくりを学びます!  
日時 1月20日(木曜日)(雨天決行)  
午前8時50分集合 18時半頃解散予定  
集合場所 堺市民センター

視察の予定	9時	11時	14時	15時	16時	18時半
	相原発	茅野着	から説明 茅野市 (風食) 茅野見学	茅野発	竜王着 竜王見学	竜王発 解散 相原着

※バスで移動するため、道路状況により時間が前後する可能性があります。

#### 相原まち歩き

相原駅周辺を散策し、相原の魅力や課題を探していきます!  
日時 1月23日(日曜日)(雨天決行)  
午前11時集合 16時頃解散予定  
集合場所 堺市民センター  
※昼食は済ませてからおいでいただけますようお願いいたします。

※いずれも町田市コールセンターへの事前申し込みが必要です。それぞれ申込期限がありますので早めにお申し込みください。年末年始も受け付けております。

申し込み先:町田市コールセンター 042-724-5656(7時~23時 年中無休)  
◆視察(茅野・竜王) 12/28~1/13まで受付(先着30名)  
◆相原まち歩き 12/28~1/17まで受付(定員なし)

### 2月は第三回勉強会(2/21)を行います!

少し先になりますが、2月には第三回勉強会として、法政大学永井先生の話題提供とグループ討議を以下の日時で実施します。皆様の参加をお待ちしています。

#### 第三回勉強会

日時 2月21日(月曜日)午後7時~  
会場 子どもセンターぱお

9/23(開催済) 相原地区まちづくり講演会

10/10 まちづくりニュースvol1発行

11/2(開催済) まちづくり勉強会(第一回)

11/30 まちづくりニュースvol2発行  
まちづくりアンケート実施

12/7(開催済) まちづくり勉強会(第二回)

12/24 まちづくりニュースvol3発行

今ココです!

1/20 開催 視察 1/23 開催 相原まち歩き

2/21 まちづくり勉強会(第三回)

2、3月 協議組織の立ち上げ

### まちづくりアンケートのご回答はお早めに!

前号のまちづくりニュースとあわせて、アンケート用紙をお配りいたしました。回答期限は年内となっておりますので、まだご提出でない方はお早めにご返信ください。アンケート用紙がお手元ない方は、まちづくり推進課までお問い合わせください。